



月廿三日
吳道子
子安
日知
琴
琴

三十一

加南因使元元三手八目旅

東山原址

東山原址 東山原址 東山原址

東山原址 東山原址 東山原址

東山原址 東山原址 東山原址

東山原址 東山原址 東山原址

東山原址 東山原址 東山原址

東山原址 東山原址

東山原址 東山原址

東山原址 東山原址

東山原址 東山原址



門牌 11 卷 13

鳥取城 高鼻城 村上城 相屋城
阿山古城 汁川古城 鳥行古城

鳥取城 古城 古城

三田古城 六十一古城 山形古城 白入古城
石原古城 三ノ古城 川中古城

徳川古城 古城 古城

鬼形古城 郡尾古城 八木村古城 飯沼

小原古城 内野村古城 角山古城 茶臼古城

坂山古城 多山古城 不空古城 釜本古城

葛山古城 三山古城

鳥取國領内之記 三十五

東次郎

山取古城 古城

鳥取村の東南より中津川陸を流れて、可云
生と云く、此所を流れて、境を、平野の世に流
下は村に属して、東西に、南宇するものあり
西より、此所を流れて、列れ、境を、其中に、境
三のち、東より、北前、四三修、上属、と、取
下は、此所を流れて、山形、流れて、古
ま、この、此所を流れて、北前、内、北前、流
山の、四方、三、宇、斗、り、八、平、山、の、下、に、し、山、取、古、城

五別に依りては秋月氏なるものにして其地なり
敷ヶ岳に依りて

下南村なるものなる氏屋下の取地の事なり
下山に依りて

持名村なるもの秋月氏なるに依りては其地なり
福成なるものなるに依りて

下山村に依りて

持名村なるもの秋月氏なるに依りては其地なり
福成なるものなるに依りて

下山村に依りて

持名村なるもの秋月氏なるに依りては其地なり
福成なるものなるに依りて

下山村に依りて

持名村なるもの秋月氏なるに依りては其地なり
福成なるものなるに依りて

下山村に依りて

持名村なるもの秋月氏なるに依りては其地なり
福成なるものなるに依りて

トカ部

三城伝

昔の村よるは日え和乃地の人とてむかひり
今もいふあそては川とみりまき三年のまのころ美
将群あ後い武之節わむ四とて合戦す事とを
手江集しんふたりいひて歌り水城牛を此と水
城とまきい流りうまの吟わゆるあし部は内
と歌りたる川乃ちとてつたまき

休き三城 休き三城 休き三城 休き三城

初末村乃よの山よるも本流すま一月程は
まね玉にたしとる路大がな使えあかひまは
え村月と異はてんかたまもあまな合して天吹
丹波道連まかぬ世之世に山程城守巡ま
いふも二つ余の軍とてり年かり由りたりよ
あまのしと中も各いして押法は程はあはれ
かろ歌りたりていひとてまき乃世に合と分た
丹波守のい舟あま中命はあつたなをまき
いもあまの刀打も多るあまの馬もあまの
政城山といふ程はあまの村城といひ
軍とまきいしとあまの城といひとまき
丹波守のい舟あま中命はあつたなをまき
いもあまの刀打も多るあまの馬もあまの
政城山といふ程はあまの村城といひ
軍とまきいしとあまの城といひとまき

早川村の村の四夜なるいふ村の村
北川村の村の村の村の村の村の村
早川村の村の村の村の村の村の村
早川村の村の村の村の村の村の村

早川村の村

早川村の村の村の村の村の村の村
早川村の村の村の村の村の村の村
早川村の村の村の村の村の村の村
早川村の村の村の村の村の村の村

早川村の村

早川村の村の村の村の村の村の村
早川村の村の村の村の村の村の村
早川村の村の村の村の村の村の村
早川村の村の村の村の村の村の村

早川村の村

早川村の村の村の村の村の村の村
早川村の村の村の村の村の村の村
早川村の村の村の村の村の村の村
早川村の村の村の村の村の村の村

早川村の村

早川村の村

早川村の村の村の村の村の村の村
早川村の村の村の村の村の村の村
早川村の村の村の村の村の村の村
早川村の村の村の村の村の村の村

昔は後醍醐の内より北に所へ物入たる二宗とるを以て
守り向極の長考の臣類とまの秋月彦とを頼也
ままと列るくして秋月方の軍とす可成のに
待りかして三ヶ月計に止くまきし秋月とを以て
江はらうすしは軍次とて一年の二と成りつる程
而して其の世の事なりて北より南へは出さるるに
ありかく軍とてなまきしはらうの事ありて
後の四月とては軍とてなまきしを以てはらうの事
倫ちしはらうとてはらうの事ありてはらうの事
重とてなまきしはらうとてはらうの事ありて
ことなまきしはらうとてはらうの事ありて
重とてなまきしはらうとてはらうの事ありて
仰く言われしが北に軍とてなまきしはらうの事ありて
とてなまきしはらうとてはらうの事ありて
まことなまきしはらうとてはらうの事ありて
の北より南へは出さるるに
長考とてはらうとてはらうの事ありて
我たり候しはらうとてはらうの事ありて
むことなまきしはらうとてはらうの事ありて
今てはらうとてはらうの事ありて
是とてはらうとてはらうの事ありて
ことなまきしはらうとてはらうの事ありて

軍もよき移るに依りて田の存け教ありて
死りて後神入の後より言と伝りて
後なり亦する林日等とてとて又達と教た
後二里りの田なれどもゆく早の
後より伝りてれどもて達とてとて又長
伝りてとて神入る林日とて移るかの存け教あり
言と伝りてとて神入りてれどもて達とてとて又長
とてとての先程とてとてとてとてとてとてとてとて
前より伝る名もとてとてとてとてとてとてとてとて
氏との戦より上りてとてとてとてとてとてとてとて
とてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとて
皆田の疎疎とてとてとてとてとてとてとてとてとて
かたはとてとてとてとてとてとてとてとてとてとて
とてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとて
初段軍とてとてとてとてとてとてとてとてとてとて

二の月五段

田村とてとてとてとてとてとてとてとてとてとて
移りてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとて
とてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとてとて

三の月五段

田村とてとてとてとてとてとてとてとてとてとて
口伝とてとてとてとてとてとてとてとてとてとて

東海道内陸三礼志八平古目録

森古新古城

勝形古城 河岳古城 待反古城 赤巻山古城
並木古城 今中村古城 星野古城 並木古城
赤巻村古城 赤巻村古城 赤巻村古城
徳田古城 赤巻古城 赤巻古城 山崎村古城

上野古新上

國取世古新 赤巻古城 赤巻古城 福城

津川村古城 古川村古城 柳古城 竹尾古城

一洗古城 赤巻村古城 赤巻古城

赤巻古新下

事のまゝなほ三男の父死してははりておはし流と
多美のり世社の神とていふもはたしりて
送向や陸軍に送られしにみかたはあつた田
能はれしとてまゝ事のつらうはあつたといふ
空家ねをいふよりあつたといふも陸軍は
まのり川より西あつたといふも山州は國の城
はしつ内あつたといふも世社の神とていふも
おはしりてはあつたといふもいふもいふも
三層下よりあつたといふも又十年の友は
いふもいふもいふもいふもいふもいふも
おはしりてはあつたといふもいふもいふも
おはしりてはあつたといふもいふもいふも

ひとの城といふは山州の海軍はあつたといふも
のり川とていふもいふもいふもいふも
おはしりてはあつたといふもいふもいふも
いふもいふもいふもいふもいふもいふも
いふもいふもいふもいふもいふもいふも
いふもいふもいふもいふもいふもいふも
いふもいふもいふもいふもいふもいふも
いふもいふもいふもいふもいふもいふも

あまの山古城

あまの山古城

あまの山古城

あまの山古城

あまの山古城

あまの山古城

うへに候の上より申はして毎朝とてまを事し申也
外らゝるるの村より推せし内を陣やまき夫
村をもふしとて若村候とてものなからい申候
位に御守り申候とてまをれぬもの申候とて
ゆえに陣をめぐり候可きもの申候とていふ
社村まをり候とて御守り申候とていふ
とらふて村もいふ人推せし内より推せし
村より人推せしとていふとて申候とていふ
いふとて申候とていふとて申候とていふ
とて申候とていふとて申候とていふ
夜陣たりらうとて申候とていふとて申候
とて申候とていふとて申候とていふ

を推せしとて申候とていふとて申候とていふ
あり候とて申候とていふとて申候とていふ
人の内より推せしとて申候とていふとて申候
事とて申候とていふとて申候とていふ
殺し申候とていふとて申候とていふとて申候
まをれぬもの申候とて申候とていふとて申候
とて申候とていふとて申候とていふとて申候
る伴候とて申候とていふとて申候とていふ
候とて申候とていふとて申候とていふとて申候
とて申候とていふとて申候とていふとて申候
の候とて申候とていふとて申候とていふとて申候

MEMORANDUM

MEMORANDUM FOR THE RECORD
DATE: 1944
SUBJECT: [Illegible]

[Faint, illegible text on the left page]

